



あきた 市議会だより

No.166

平成29年
5月5日

2月定例会の概要……………	P 2～4
2月定例会の流れ……………	P 5
議案等に対する会派別の表決状況……	P 6～7
代表質問……………	P 8～10
一般質問……………	P 11
予算決算委員会各分科会の審査から…	P 12～13
若者議会見学会を開催……………	P 14
6月定例会のお知らせ（予定）……………	P 14

発行／秋田市議会 編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>
右のQRコードを読み取ると、過去の議会だよりもご覧になれます。



4月4日に行われた平成29年度黄色い帽子贈呈式の様子

2月定例会の概要

2月14日～3月16日

2月定例会では、平成29年度一般会計予算などの予算案17件、秋田市新屋ガラス工房条例を設定する件などの条例案21件、単行案14件および平成28年度の補正予算案13件をすべて可決・承認しました。また、議員提案による条例案1件を可決したほか、人事案2件に同意しました。

平成29年度当初予算の規模

対前年度増減率

一般会計	1,259億2,000万円	-3.1%
特別会計	742億52万9,000円	0.4%
企業会計	327億4,725万6,000円	-0.0%
合 計	2,328億6,778万5,000円	-1.6%

一般会計は、骨格予算としての編成となったことから、対前年度比で3.1%の減となりました。

予算

救急隊増隊関係経費

消防力の整備指針改正による救急隊の配置基準見直しへの対応と、将来の救急需要増大を見据えて救急隊を増隊します。

- ・救急救命士の養成(1名)
- ・高規格救急自動車等の整備(土崎消防署)

5千614万9千円

地域おこし協力隊活用事業

地域おこし協力隊を活用し、本市の暮らしの良さや魅力などを県外在住者の視点を取り入れて情報発信し、本市への移住定住の流れを生み出します。

1千36万2千円



委嘱式の様子

災害対策本部設備高度情報化経費

(緊急告知ラジオの導入)

緊急告知ラジオ受信機を市で購入し、災害想定区域内にある福祉施設等へ貸与すると同時に、ラジオ放送事業者に、緊急告知ラジオの自動起動と緊急放送の割込等の災害情報伝達業務を委託します。

ラジオ貸与対象者 福祉施設、小・中学校、保育所等

795万7千円

ワーク・ライフ・バランス推進事業

ワーク・ライフ・バランスの啓発活動を推進するとともに、子育てに優しい企業を「秋田市元氣な子ども」のまちづくり企業」として認定し、社会的評価を高める取り組みを進め、子育てを社会全体で支える気運の醸成を図ります。

- ・秋田市版イクボス宣言プロジェクト

480万4千円



市内企業23社による
合同イクボス宣言

子ども・子育て支援事業計画検証経費

第2次子ども・子育て未来プランの中間年度として、各種施策の課題等を分析し、指標の見直しや事業効果の検証を行うため、市民意識調査等を実施します。

222万3千円

健康づくり推進事業

食生活、運動、口腔ケア等の各種健康教室や健康相談を行います。

- ・「秋田市いいあんべえ体操」を活用し、市内7会場で体操教室を開催
- ・幼児や保護者、働く世代、高齢者の各ライフステージに応じた食と運動の総合的な健康づくりセミナーを開催

553万9千円

在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方が必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医師会をはじめとした医療・介護関係者との協力体制を強化し、多職種協働により在宅医療・介護サービスの一体的な提供体制を構築します。

622万5千円

介護予防ケアマネジメント事業

高齢者一人一人が自ら介護予防・健康の維持・増進に取り組めるよう、地域包括支援センターがアセスメントを行い、利用者の状況を踏まえたケアプランを作成します。

9千273万7千円

意思疎通支援事業

聴覚、言語機能、音声機能等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者に対し、自立と社会参加を促進するため、手話通訳者等の設置や派遣を行います。

・「全国手話言語市区長会」関係経費

・重度障がい者入院時意思疎通支援事業

1千223万1千円

鳥インフルエンザ対策事業

大森山動物園における鳥インフルエンザ対策に万全を期すため、環境省の指針および専門家からの助言を参考に、飼育鳥類と野鳥との接触を防ぐための防鳥ネットの設置と隔離飼養施設の整備等を行います。

4千923万円

若年者就業支援事業

高校生を対象に、就職活動上必要なスキルの習得や職業意識の醸成を行う就職支援講座を実施し、職場定着による早期離職の抑制を図ります。

795万8千円

新規就農支援事業

将来の本市農業を支える担い手の育成・確保を図るため、農業で自立しようとする意欲あふれる新規就農者への支援を行います。

・フロンティア農業者研修

・農業研修生担い手交流事業

・新規就農総合支援事業

・新規就農者経営開始支援事業

3千816万3千円

園芸作物価格補償事業

農協および全農を通じて共同出荷した園芸作物の市場価格の下落対策として、県・全農・市・農協および生産者の負担金を財源とする補給金の交付により、生産農家の経営に及ぼす影響を緩和し、園芸作物の生産・出荷の安定を図ります。

対象品目 ねぎ、ダリア

166万2千円



ダリア

農工商連携ビジネス支援事業

農業者および商工業者等のマッチングを支援し、農工商連携ビジネスの推進を図るとともに、事業家の育成とビジネスの拡大を支援します。

・農工商連携ニーズ調査および支援等活動費

・アグリビジネス事業家育成支援

・（仮称）あきたスウィーツフェスタへの支援

754万円

市民の座1230ミニコンサート開催経費

新庁舎を市民に親しまれる芸術文化の発信拠点とするため、市民の座でミニコンサートを開催します。

30万円



市民の座

土崎港曳山行事ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

土崎神明社祭の曳山行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、（仮称）土崎港曳山行事伝承伝承会が実施する各種事業に対して支援します。

800万円



土崎神明社祭の曳山行事

ホストタウン交流事業

東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流計画に基づき、フィジー共和国ラグビーチームの事前合宿誘致を推進するため、中学生選抜ラグビーチームの派遣など、スポーツと文化の交流を図ります。また、マレーシアを対象に、バドミントン代表チームとの交流を通じてホストタウン登録を目指します。

3千64万6千円

「美術館の街」活性化事業

多くの市民が芸術に親しむ機会を創出するとともに、芸術文化ゾーンとして整備される中心市街地の活性化を図ります。

・明治有田超絶の美 万国博覧会の時代展

・（仮称）遠山記念館名品展

・ARを活用した「art line」のアプリ化事業

4千152万4千円



千秋美術館

第44回東北総合体育大会秋田市開催経費

本市で開催される14競技の円滑な運営と成功を期するため、秋田市実行委員会を設置し、競技運営等に要する一部経費を負担します。

583万3千円



はずむ!スポーツ都市マスコットキャラクター「スポまる」

御所野学院高等学校施設等 改修経費

教育環境の充実を図るため、施設設備の改修等を行います。

・テニスコート改修、増設工事

3千900万円



御所野学院テニスコート

学校給食費管理費

平成29年4月から、学校給食費を市の公金として管理する「公会計」方式を導入することに伴い、給食費算定の基礎となる食数の管理や給食費の収納状況の管理を行うとともに、毎日の給食食材の安定的な調達を行います。

13億4千605万円



生ごみ減量促進事業

生ごみの減量を一層推進するため、生ごみを堆肥化する容器の購入に対して補助し、家庭で手軽にできる生ごみ堆肥づくりの普及促進を図るとともに、水切りの啓発や食品ロス削減対策を強化し、生ごみ減量につながる取り組みについて周知を行います。

・「オールあきた水切り月間」の実施等

654万6千円

立地適正化計画策定経費

多核集約型のコンパクトシティの推進に向け、居住と都市機能の立地の適正化に関する基本方針、居住と都市機能施設を誘導すべき区域ならびに誘導に関する施策を検討し、同計画を策定します。

1千818万5千円

人にやさしい歩道づくり事業

学校、病院、駅、福祉施設など公共施設周辺の市道について、児童、高齢者などをはじめすべての人がより安全に通行できるように、既設歩道の改善を行います。

1億3千900万円

中心市街地優良建築物等 整備事業費補助金

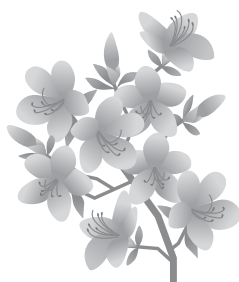
中心市街地に優良建築物として整備される多世代共生型の共同住宅について、民間事業者に対し整備に係る費用を補助し、事業の促進を図り中心市街地への居住を促します。

9千869万5千円

中心市街地活性化基本計画 推進経費

第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の事業効果を継続的に観測するため、各目標指標の達成状況を確認し、フォローアップ調査を実施するとともに、秋田市中心市街地活性化協議会が行う中心市街地活性化のための総合的かつ一体的な推進に関する取り組みを支援します。

294万8千円



条例

秋田市新屋ガラス工房条例 を設定

新屋地区における地域の歴史と文化を伝承し、地域資源を生かしたまちづくりを推進するために、ガラス工芸等を通じたものづくりの振興と地域交流等を行う同工房を設置するため、条例を設定しました。

設置場所 新屋表町5番2号
施行期日 29年7月15日から
(使用の申し込みは、6月15日から受け付けます。)



秋田市新屋ガラス工房完成予想図

秋田市特別会計条例の一部 を改正

学校給食費の公会計への移行に伴い、新たに学校給食費会計を設置するため、条例を改正しました。

施行期日 29年4月1日から

議員提案による条例

秋田市議会委員会条例の 一部を改正

教育委員長と教育長を一本化した新たな教育長の設置による地方自治法の一部改正に伴い、条例を改正しました。

施行期日 公布の日から

単行案

南部市民サービスセンター 牛島別館(仮称)建築工事 請負契約を締結する件

工事場所 牛島東六丁目4番
契約金額 5億5千998万円
契約先 佐々木・長谷駒・
石川特定建設工事共同企業体

人事

人権擁護委員

浅野の進氏(再任)
熊谷鉄美氏(新任)



平成29年2月定例会の流れ

秋田市議会では年4回（2月、6月、9月、11月）定例会を開催しています。

平成29年2月定例会は、31日間にわたって、議案などを審議しました。ここでは、平成29年2月定例会の議案審議等の流れを紹介します。



本会議（2月14日）～開会・市長説明等～

- 開 会 議長の宣言で開会し、会期を決定します。
- 市長説明 市長から、提案した議案の説明を受けます。

本会議が開催されていないときは、議案調査や委員会を行っています。



本会議（2月23日、24日、3月2日）～代表質問・一般質問・質疑・委員会付託～

- 代表質問 各派交渉団体（3人以上の議員が所属する会派）を代表して、議員が市長説明に対して質問し、市長、教育長等が答弁します。
- 一般質問 議員が市政全般について質問し、市長、部局長等が答弁します。
- 質 疑 議案に対して、質疑を行います。
- 委員会付託 提出された議案や請願・陳情を、審査を担当する委員会へ付託します。
※平成28年度補正予算等14件の議案については、先議（ほかの議案より先に審議すること）しました。

代表質問・一般質問については、8ページから11ページに掲載しています。

委員会付託とは

議案等について、詳しく審査・検討をするために、所管の委員会に審査を託すことをいいます。
予算案等は予算決算委員会へ、それ以外の議案等は所管の委員会へ付託します。



予算決算委員会・前期全体会（3月3日）

予算決算委員会の前期全体会では、予算案等、議案の概要説明を受けた後、各分科会（総務分科会、厚生分科会、教育産業分科会、建設分科会）に分担します。

予算決算委員会各分科会（3月6日～9日）

予算決算委員会から各分科会に分担された予算案等について、詳細な説明を受け、質疑を行います。

予算決算委員会各分科会の様子については、12、13ページに掲載しています。

予算決算委員会・後期全体会（3月14日）

予算決算委員会の後期全体会では、各分科会委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決を行います。

総務委員会、厚生委員会、 教育産業委員会、建設委員会 （3月6日～9日）

- 説 明 議案の詳細な説明を受けます。
- 質 疑 議案などに質疑を行います。
- 討 論 議案などに理由を付して、「賛成」「反対」の意見を述べます。
- 採 決 議案などについて、委員会としての可否を出席委員の過半数で決定します。

本会議（3月16日）～委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論・採決～

- 委員長報告 各委員長が委員会での審査の経過と結果を報告します。
- 質 疑 委員長報告に対する質疑を行います。
- 討 論 議案などに理由を付して、「賛成」「反対」の意見を述べます。
- 採 決 議案などについて、議会としての可否を出席議員の過半数で決定します。
- 閉 会 議長の宣言で閉会します。

議案等に対する各会派別の表決状況は、6、7ページに掲載しています。

議案に対する会派別の表決状況

2月定例会の結果

()内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件 名		秋水会 (15)	そうせ (6) ※2	市民 ク(4)	公明 党(4)	フロ 秋(4)	社・ 市(3)	共産 党(2)	議 結	決 果
市長 提 出	◆ 平成28年度秋田市一般会計補正予算（第6号）に関する専決処分について承認を求める件	○ ※1	○	○	○	○	○	○	承	認
	◆ 平成28年度秋田市一般会計補正予算（第7号）の件	○ ※1	○	○	○	○	○	○	可 決	
	◆ 平成28年度秋田市一般会計補正予算（第8号）の件	○	○	○	○	03 x1	○	×		
	◆ 平成28年度秋田市土地画整理会計補正予算（第4号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市市有林会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市市営墓地会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第3号）の件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆ 平成28年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第4号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市水道事業会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市下水道事業会計補正予算（第3号）の件									
	◆ 平成28年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）の件									
	◆ 平成29年度秋田市一般会計予算の件	○	○	○	○	03 x1	○	×		
	◆ 平成29年度秋田市土地画整理会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市市有林会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市市営墓地会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市中央卸売市場会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市公設地方卸売市場会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市大森山動物園会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市廃棄物発電会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市病院事業債管理会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市学校給食費会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市国民健康保険事業会計予算の件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆ 平成29年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市介護保険事業会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市後期高齢者医療事業会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市水道事業会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市下水道事業会計予算の件									
	◆ 平成29年度秋田市農業集落排水事業会計予算の件									
	◆ 秋田市個人情報保護条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市特別会計条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市市税条例等の一部を改正する件									
	◆ 秋田市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	×		
	◆ 秋田市雄和糠塚地区民間資本活用施設条例の一部を改正する件	○	○	○	○	02 x2	○	○		
	◆ 秋田市文化振興基金条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市立千秋美術館条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市犯罪被害者等見舞金支給条例を設定する件									
	◆ 秋田市社会福祉審議会条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市介護保険条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市道路占用等に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆ 秋田市建築物エネルギー消費性能向上計画等認定手数料条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市低炭素建築物新築等計画認定等手数料条例の一部を改正する件									
	◆ 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する件									
	◆ 秋田市消防団員の報酬及び費用弁償額並びにその支給方法条例の一部を改正する件									

議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

2月定例会の結果

()内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件 名		秋水会 (15)	そうせ (6) ※2	市民ク (4)	公明党 (4)	フロ秋 (4)	社・市 (3)	共産党 (2)	議結	決 果
市長提出	◆ 秋田市火災予防条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市農業集落排水施設条例の一部を改正する件									
	◆ あらたに生じた土地を確認する件									
	◆ 字の区域を変更する件									
	◆ 公立大学法人秋田公立美術大学定款の一部を変更する件									
	◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院中期目標の一部を変更する件									
	◆ 包括外部監査契約を締結する件									
	◆ 秋田市將軍野地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件									
	◆ 秋田市雄和左手子交流センターの指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	可	決
	◆ 秋田市東地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件									
	◆ 秋田市保戸野地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件									
	◆ 秋田市川尻地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件									
	◆ 秋田市御所野交流センターの指定管理者を指定する件									
	◆ 市道路線を認定する件									
	◆ 南部市民サービスセンター牛島別館（仮称）建築工事請負契約を締結する件									
	◆ 秋田市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例および秋田市障害福祉サービス事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件									
	◆ 秋田市新屋ガラス工房条例を設定する件									
議員提出	◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	同	意
	◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件									
議員提出	◆ 秋田市議会委員会条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	可	決
請願	◆ イオンモール秋田店が地域経済に与えた影響について、市による検証を求める請願書	×	02 x3	×	×	○	○	○		
陳情	◆ 老人いこいの家の存続について	01 x14	×	×	×	×	×	○		
	◆ 秋田市総合都市計画書（調査編昭和29年3月）の再版について	×	×	×	×	01 x3	×	×	不採	択
	◆ 地域別最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制の実現及び中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	×	04 x1	○	×	○	○	○		
	◆ 共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）法案の国会提出に反対する意見書の提出について	×	01 x4	×	×	○	○	○		

★会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。

※1 秋水会は、該当する議案2件の採決時に1名欠席しています。

※2 そうせいは、すべての議案等の採決時に1名欠席しています。

★略記している会派の名称

「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

〔継続審査となった案件〕 陳情 ◆牛島東五丁目1－5先交差点への押しボタン式信号機の設置の働きかけについて
継続審査とは…議案等の審査に当たり、さらに調査する必要があるなどとして会期中に審査を終了できない場合、委員会からの申し出により、会期終了後も引き続き審査を行うことをいいます。

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP

議会の日程と
議案の結果

2月市議会定例会

議員の表決状況

◆請願・陳情の提出について◆

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（８８８）５７８４

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問

秋水会
いわ

岩谷政良
や ま さ よ し

◇市長の政治姿勢◇人口減少対策◇人口減少社会を見据えた公共施設等のあり方◇立地適正化計画の策定◇秋田公立美術大学◇八橋運動公園の施設整備等◇羽州街道の観光資源としての活用◇消防団の活性化

八橋運動公園

問 旧気象台跡地を同公園の駐車場の一部として活用し、また、使用機会が少ない隣接する相撲場も併せて活用してはどうですか。

答 旧気象台跡地は、現在、利用者の駐車場として整備する方向で国との協議を進めています。また、相撲場については、本市から全国大会で活躍する小学生も輩出されており、今後国技である相撲の普及振興を図る場として、存続するべき施設と考えています。



八橋運動公園内に
ある相撲場

子育て支援策

問 子育て支援策の課題は何ですか。また、今後の子育て支援に必要な視点および具体的な事業展開をどのように考えていますか。

答 人口減少に対応するため、平成28年度から第2子保育料無償化事業や秋田市版ネウボラ等に取り組んでいます。また、子どもの出生数は、昨年度に比べ、第2子が増加傾向にあるものの、第1子は減少しています。また、秋田市版ネウボラでは、妊娠、出産、子育てに関する相談にとどまらず、仕事や収入などの相談も多く寄せられており、こうした若い世代の不安や悩みを払拭することが課題とらえています。そのため、今後は、子どもを生み育てる事に喜びや楽しさを実感できるように、多角的な視点に立った施策の展開が重要であると考え、さらなる経済的負担の軽減などに加え、仕事と子育ての両立支援の推進や安定した雇用の創出など、子育てを社会全体で支える息の長い取り組みを実施していきます。

そうせい
ふじ

藤田信
た ま こ

◇市長の政治姿勢◇心に寄り添い、ともに考える市民協働◇県・市連携文化施設の課題◇秋田北ノ農／工／商共存型まちづくり構想を活用した本市の課題解決◇秋田の特徴を生かした新産業の創出◇ワーク・ライフ・バランスにより地域に活力を◇子供を産み育てやすい環境づくり◇行財政運営

ファザリング 全国フォーラムの誘致

問 NPO法人ファザリング・ジャパンが毎年開催しているファザリング全国フォーラムを県と共同で誘致してはどうですか。

答 ファザリング・ジャパンは、男性の積極的な育児参加や、イクボスプロジェクトをはじめとする企業の意識改革を進めるなど、仕事と生活の両立支援のための活動をしています。本市としては、さらなるワーク・ライフ・バランスの気運を醸成するため、県に対して全国フォーラムの誘致を働き掛けていきます。

文化会館

問 国の事業を活用して同会館を継続使用する場合の経費はどうなりますか。また、建て替えの場合との比較はどうなりますか。

答 同会館の継続使用に当たっては、耐震補強や長寿命化に要する経費を含む大規模修繕等が必要となり、経費は概算で約55億円と見込んでいます。現時点で国の長寿命化事業の詳細は不明ですが、仮に大規模修繕等の2分の1が該当するとした場合、市の実質負担額は約48億円と想定されます。これは、県・市連携文化施設整備の市の実質負担額約46億円と同程度ですが、文化会館を大規模改修したとしても、構造上の制約から舞台規模をはじめ、音響設備など、利用者のニーズに合った抜本的な課題の解消は困難であることから、新たな文化施設の整備が必要と判断しました。



秋田市文化会館



マチを好きになるアプリ



行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」であきた市議会だよりを配信しています。
専用アプリをダウンロードしてご利用ください。
※マチイロ公式サイト <http://machihiro.town/>



アプリダウンロード
QRコード

代表質問

市政全般にわたり、会派を代表して6人の議員が質問しました。

公明党秋田市議会

松田豊臣

◇市長の政治姿勢◇地域産業の振興◇防災・減災対策◇地域コミュニティ◇障がい者施策◇感染症対策◇食品ロス対策

要約筆記

問 聴覚障がい者のコミュニケーション支援として、要約筆記者の認知度の向上や活用機会の拡大等を図るべきではありませんか。

答 要約筆記については、聴覚障がい者等への周知に引き続き努めるほか、さまざまな会議やイベントの主催者等に対する周知・啓発を図るなど、要約筆記者の活躍の機会の拡大に努めていきます。

ヘルプカードの導入

問 他都市におけるヘルプカードの導入状況をどのように認識していますか。また、本市においても早期導入に向けて検討するべきではありませんか。

答 ヘルプカードについては、導入する自治体が増え

てきていることや、今後、カードのデザインが全国的に統一される可能性があることなど、普及に向けた環境が整いつつあるものと認めています。本市としても、障がい者団体等の意見を聞きながら、導入に向けた検討を進めていきます。

路面下空洞調査

問 道路の陥没事故防止や防災・減災の観点から、路面下空洞調査およびその対策が重要と考えますが、どのように認識し、今後どのように対応していくのですか。

答 突然発生する道路の陥没を未然に防ぐことは極めて重要であり、レーダー搭載車両による同調査は効率的に発見できる方法であるにとらえています。道路陥没には、パトロールや市民からの情報提供などにより対応していますが、平成29年度から計画的に、緊急輸送道路など主要な幹線道路への同調査を実施する予定としており、早期発見によるさらなる事故の未然防止に努めていきます。

フロンティア秋田

伊藤巧一

◇市長の政治姿勢◇平成29年度当初予算編成等◇秋田市公共施設等総合管理計画◇空き家対策◇移住支援◇港湾貿易振興等◇仁井田浄水場更新事業◇組織機構◇秋田国際ドリア園等◇消防団員

秋田国際ドリア園

問 同園をどのように評価していますか。

答 同園は、NAAHAGEダリア開発の話題により、県内外から入園者が増加しており、交流人口の拡大へ貢献しているものと評価しています。

秋田市公共施設等総合管理計画

問 生活面で特に影響のある道路、橋梁、上水道、下水道等の社会基盤施設は現状どおり維持できるのですか。

答 公共建築物やライフラインとなる社会基盤施設の全体を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行

うため、現在、公共施設等総合管理計画を策定しているところであり、具体的な取り組みについては、今後策定する個別計画の中で明らかにしていきます。また、公共施設の維持修繕、更新等の将来の財政需要に対応するため、平成30年度末までの積立額50億円を目標に、公共施設等整備基金を設置したところであり、計画推進のための財源確保にも努めていきます。

空き家対策

問 倒壊の恐れが高いなど、特に注意すべき家屋については、直ちに対処するべきではありませんか。

答 平成24年度に実施した空き家の実態調査により、36件の特に注意するべき家屋を把握した上で、所有者等に対する指導等を行ってきました。この結果、解体13件を含め、18件の家屋で適正な管理が行われています。引き続き、適正な管理が行われるよう、状況の確認と必要に応じた指導等に努めていきます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

6月定例会の本会議は、6月8日、19日、20日、21日、30日に開催予定です。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問

市民クラブ

渡辺 良雄

◇市長の政治姿勢◇都市内地域分権◇財政◇まちづくり◇秋田北／農／工／商共存型まちづくり構想◇上下水道事業◇農業等◇教育行政

市長公約

問 2期目の公約の考え方とこれまでの取り組みの成果および知事との共同公約も含め3期目に向けて考えている内容についてはどうですか。

答 2期目の公約は、人口減少・少子高齢化の進行など、社会状況の変化や新たな課題等に的確に対応することを念頭に置いて掲げたものであり、全40項目が達成または着手済みです。このうち、県・市連携文化施設整備については、協働で二つの施設を一つに集約することで、コンベンション等においてホールの一体的利用が可能になるほか、整備費の大幅な縮減が図られるなどメリットが大きく、少子高齢化や国・地方公共団体の厳しい財政状況などを踏まえると、わが国にお

ける今後のモデルになり得るものにとらえています。また、3期目の公約としては、知事が公約に掲げる方針を示したブラウブリッツ秋田の本拠地となるスタジアム整備について、県等とともに検討を進めることや保育料無償化の第1子までの拡大、質の高い安定した雇用の拡大、移住・定住の促進、給付型奨学金の創設、高齢者コインバス事業の対象年齢の65歳への引き下げ、(仮称)泉・外旭川新

駅の整備などを公約に掲げたいと考えており、元気な秋田市づくりに向けて、全力で取り組んでいきます。

競輪場外車券売場

問 茨島地区に建設予定の同売場について、業者との協議は行われていますか。

答 同売場の設置希望者からは、設置許可権限を持つ経済産業省の関係法令等に基つき手続きを進めていると伺っていますが、設置希望者に対しては、関係法令にのっとり、地元町内会や警察等との調整等を十分行うよう申し入れています。

社会・市民連合

工藤 新一

◇2018年を起点とする国の農業・林業振興政策の変更に伴う本市のビジョン◇秋田港◇ごみ減量化◇フッ化物洗口及び塗布事業◇子どもオンブズパーソン制度の導入◇市内企業及び事業者の育成

家庭ごみ処理手数料

問 同手数料は、多額の手数料収入となっており、基金化されている部分もあるため、値下げしてもごみ減量化の動機を妨げることにほならないと思えますがどうですか。

答 家庭ごみの有料化後は、排出量の減少傾向が続いていますが、国の第三次循環型社会形成推進基本計画を踏まえ、秋田市一般廃棄物処理基本計画で定める、平成37年度までに市民一人1日当たりの家庭系ごみ排出量を48グラムにするとの目標の達成に向け、より積極的な減量施策を展開していく必要があると考えています。現在の手数料額は、国の調査における金額と排出抑制効果との関係な

どを踏まえて、1リットル1円に設定したものであり、その額を下げることは排出抑制効果の低下につながる恐れがあることから、現段階では、値下げすることとは考えていません。



ごみ減量イメージキャラクター「エコアちゃん」

社会構造上発生するごみ

問 社会構造上発生しているごみの現状と、ごみ減量化に向けた発信はどのようなものですか。

答 本市では、生産、流通、消費、廃棄の各段階において、ごみの発生が抑制される仕組みづくりが重要と認識しており、事業者に対しては過剰包装の抑制等を、市民に対してはマイバックの使用などを呼び掛け、啓発に努めています。また、全国都市清掃会議を通じて、生産から廃棄・リサイクル段階までの生産者の責任が適正なものとなるよう、国へ働き掛けていきます。

議会の動き

2月10日 各派会長会議
議会運営委員会
14日 2月定例会(3月16日まで)
4月3日 編集委員会

4月11日 編集委員会
21日 各派会長会議
24日 総務委員会(閉会中)
27日 議会運営委員会



一般質問

市政全般にわたり、2人の議員が質問しました。

秋水会

おのの
小野寺

まこと
誠

◇市長の政治姿勢◇農業振興
◇教育環境◇人口減少対策◇
待機児童対策◇子供の遊び場
◇東北絆まつり等

保育料無償化

問 保育料無償化の対象をすべての児童に拡大するべきではありませんか。

答 本市では、平成28年度から人口減少対策として、一定の所得制限の下、第2子以降の保育料を無償化しています。本事業の実施により、第2子以降の出生数は昨年より増えており、子どもを持つことへの後押しとして一定の効果があつたものととらえています。保育料無償化の対象をすべての子どもに拡大することは、多額の費用を要することから現時点では困難ですが、第1子の出生数が減少していることから、一定の所得制限の下、第1子までの拡大を3期目の市長公約に盛り込みたいと考えています。



小中学校の適正配置

問 将来の児童生徒数を見据え、小中学校の適正配置について速やかに取り組む考えはありませんか。

答 小中学校の適正配置は、短期的な見通しによる取り組みにより統廃合を繰り返すことのないよう、望ましい将来像を市民と共有しながら進める必要があると考えています。そのため、平成27年度の秋田市小・中学校適正配置検討委員会による提言に基づき、現在、将来像を描くに当たっての基本的な考え方などについて整理・検討を行っているところです。29年度は、適正配置の検討の必要性や、将来像を検討する上での基本的な考え方を示し、広く意見を聞きながら、年度内に将来像の素案を取りまとめるなど、望ましい将来像の成案化を図りたいと考えています。小中学校の適正配置は極めて重要な課題ですので、市民と共に考えながら、必要な手順を踏み、時機を逸することなく取り組んでいきます。

日本共産党秋田市議会議員団
すずき
鈴木 知

◇市長の政治姿勢◇子供・若者育成支援

義務教育の無償化

問 義務教育に係る家計負担は、義務教育にふさわしく無償化に向けた努力をするべきではありませんか。

答 義務教育は、国民が共通して身に付けるべき公教育の基礎的部分を誰もが等しく享受し得るよう保障するものであり、授業料を徴収せずに実施することとされています。一方、義務教育の実施に必要なその他の経費については、教科書を除いて保護者が負担しており、市が学用品を支給することや、学校給食を無償化することには多額の経費が必要となるため、実施は困難です。なお、経済的な理由で就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、生活保護および就学援助制度により、学用品費や学校給食費等を援助しており、引き続き義務教育の目的を踏まえた適切な支援策を講じていきます。

住宅政策

問 住宅政策として、低廉な家賃で提供する若者向け市営住宅の配置や、市営住宅のルームシェア、民間賃貸住宅の家賃補助制度の創設などを実施し、若者の定着の一助とするべきではありませんか。

答 市営住宅は、公営住宅法の趣旨に基づき、住宅に困窮するあらゆる年齢層の低額所得者に対し、低廉な住宅を提供することを目的に設置されていることから、若者のみを対象とした定住のための市営住宅の整備は考えていません。また、市営住宅のルームシェアは、公営住宅法および本市条例において、親族以外との同居は、特別な事情がある場合等を除き制限されていることから、整備は困難です。なお、民間賃貸住宅居住者を対象とした家賃補助制度の創設は、低額所得者など住宅の確保に配慮を要する方への支援の観点から、今後検討していきます。



■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しております。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

予算決算委員会各分科会の審査から（平成28年度補正予算について）

予算決算委員会 総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、
消防本部などの所管事項

委員

地域総合整備資金
貸付事業の対象2事業のうち、
新倉庫建設事業について、
貸付要件にある事業の
公益性をどのように判断し
たのですか。

企画財政部

新倉庫建設
事業については、市内の物
流拠点である御所野地区に
冷凍・冷蔵倉庫を建設し、
当該倉庫を他の業者も利用
できることで、本市におけ
る物流の強化につながるこ
と、また、災害時に物資等
の貯蔵倉庫としての利用が
できることから、公益性が
あると判断したものです。



冷凍・冷蔵倉庫

予算決算委員会 厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、
子ども未来部の所管事項

委員

市営墓地会計につ
いて、一般会計繰出金を増額
補正する理由は何ですか。ま
た、希望者が多く空きがない
状況となっている平和公園・
南西墓地・河辺墓地について
は拡張する予定はありませ
んか。

市民生活部

改葬等に伴
う墓地の返還について、当
初15基分を見込んでいまし
たが、27基の実績があった
ため、その分の新たな墓地
使用による永代使用料が発
生したことなどから、増額
補正しようとするもので
す。また、平和公園・南西
墓地・河辺墓地の拡張につ
いては、用地等の課題があ
ることから、現在のところ
考えておりません。



秋田市河辺墓地

予算決算委員会 教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、
教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

ライスセンター整
備支援事業について、事業実
施に至るプロセスはどう
なっていますか。また、今後
も市として積極的に支援す
る考えはありますか。

産業振興部

同事業にお
ける施設整備は、経済的な
負担が発生する地元からの
要望が第一義であり、また、
市の稲作振興の考え方と地
元要望が合致した場合に、
その取り組みを支援する事
業を実施することとしてい
ます。また、平成29年度に
おいても1カ所整備を予定
しているほか、JAなど米
の集荷業者が、一定量の均
質な米を、年間を通じて安
定的に供給する必要がある
ことから、このような施設
が不可欠であり、機会をと
らえて国、県に対し積極的
な支援を働き掛けていき
たいと考えています。

予算決算委員会 建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、
上下水道局の所管事項

委員

公園遊具施設長寿
命化等整備事業について、事
業の財源としている地域介
護・福祉空間整備推進交付金
の制度が廃止されたことな
どに伴い、同交付金の充当を
予定していた部分について
は事業の実施を取りやめた
のですか。

建設部

同事業は、介護
予防器具を各公園に設置す
ることにより、要介護状態
等への進行の予防などを目
的としており、第8次秋田
市高齢者プランに盛り込ま
れている事業であることか
ら、実施を取りやめるので
はなく、事業規模を縮小し、
一般財源から予算を充当す
ることにより、事業を実施
しているものです。



介護予防器具

予算決算委員会各分科会の審査から（平成29年度当初予算について）

予算決算委員会 総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、
消防本部などの所管事項

委員

移住促進事業の推進に当たっては、多種多様にわたる施策を一つにまとめ上げ、全庁を挙げて取り組むことで初めて効果が得られると思いますが、具体的な事業内容をどう考え、どのような体制で取り組んでいくのですか。

企画財政部

同事業は、情報発信を行う「秋田市暮らし」魅力発信事業、本市での生活がイメージできるツアーを行う秋田市プチ移住体験事業、首都圏の移住相談体制の強化を図る首都圏移住促進事業の3事業を考えています。事業の推進は、平成29年度から企画調整課に移住促進担当課長および担当を、東京事務所に専門相談員を配置して東京と秋田で相談体制の充実を図ります。移住への対応は全庁に関係するため、情報を一元化しワンストップで対応するものであり、担当課長が部局横断的な調整を担い、全庁が一丸となり取り組みたいと考えています。

予算決算委員会 厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、
子ども未来部の所管事項

委員

認知症対策推進事業について、認知症が疑われる人に対する早期の支援や、認知症が原因による徘徊者を早期発見するための対策は講じていますか。

福祉保健部

早期の支援については、認知症専門医の指導の下、保健師等の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを新たに設置して、自宅訪問を通じ病院の受診や介護サービスの受給等につなげていきます。また、徘徊者の早期発見については、徘徊者発生の情報が警察から各地域包括支援センター等の一斉にファクス送信されるほか、市でも警察から要請があった時点で、市内の各介護サービス事業所へ同情報を一斉にメール送信して捜索協力の依頼をするなど、早期発見を目指した体制を整えています。

予算決算委員会 教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、
教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

秋田コンベンション協会が行う秋田市観光振興協働交付金を活用した事業について、本市との協議はどのように行われているのですか。また、どのように評価しているのですか。

観光文化スポーツ部

同協会は、平成25年度から同交付金を活用した事業を実施しており、事業計画の策定に当たっては、市と十分に協議し、部内関係者による審査会を経て決定しています。また、同協会が中心となった活動として、平成28年5月に実施した「これが秋田だ！食と芸能大祭典」があります。同協会が自主的な考えで運営したものであり、大盛況に終わったことから、本市の観光振興に寄与しているものと評価しています。



予算決算委員会 建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、
上下水道局の所管事項

委員

水道事業の送水管等整備事業について、雄和地域の清水木ポンプ場から竹ノ花配水池までの区間において漏水が多発している原因は何ですか。また、部分的な修繕ではなく、布設替えとする理由は何ですか。

上下水道局

当該管路は、旧雄和町時代の昭和63年に整備されたものであり、使用している硬質塩化ビニル管の経年劣化に伴う強度の低下により亀裂が生じ、漏水が多発しているものと考えています。また、雄和地域における主要な管路となっており、当該管路の漏水については広範囲にわたる断水につながる恐れがあることから、布設替えとするものです。



清水木ポンプ場

若者議会見学会を開催しました

議会活性化の取り組みとして、平成29年2月9日に、39歳以下の若者を対象にした若者議会見学会を行いました。

議会のホームページなどで参加を募った結果、秋田商業高等学校の3年生15人を含め、21人の参加がありました。

当日は、議員の案内により、議場、委員会室をはじめ、普段入ることができない議長室や会派控室等を見学した後、議員との意見交換等を行いました。



参加者からは、「普段見ることのできないところを見ることができ、貴重な体験だった」、「議員と近くで話すことができ、興味深く貴重な時間だった」などの声が寄せられました。

6月定例会のお知らせ(予定)

日程

6月8日

19日～21日

22日～26日

本会議

本会議「一般質問」

常任委員会・分科会
(土日除く)

28日

30日

常任委員会

本会議

今回のあきた市議会だよりは
平成29年8月4日
発行予定です。



※日程は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

編集後記（2年間の編集委員活動を振り返って）

藤枝 隆博 副委員長
議会と市民を結ぶ「市議会だより」いかがでしたか。新しい議場に傍聴にいらっしゃる市民の皆様もたくさんおられます。今度は、是非とも議場でお会いしましょう。

佐藤 哲治 委員長
市民に思いが届く広報を目指して、2年間編集委員長として務めさせていただきました。これからも、「市民の市民による市民のための議会」を目指して頑張ります。



武田 正子 委員
「あなたが編集委員だと知って見るようになったよ。市議会の様子がよく分かり、なかなか面白いね。」と嬉しい声を頂き、携わることができて感謝です。

安井 誠悦 委員
今後皆様に見ていただける「市議会だより」を目指し、より開かれた議会になるよう努めます。

宇佐見 康人 委員
議会の情報が一人でも多くの方の目につくようにアプリでの配信を始めることができうれしく思います。今後も一議員として伝える努力をしていきます。

細川 信二 委員
発行までの期間短縮や紙面の多色化など、編集委員を担当しあらためて課題を認識しました。この経験を踏まえ今後も多彩な情報発信を心掛けま